

## 不法投棄現場における鉛の挙動について

### 1. 底質及び土壌の鉛含有量試験結果

採取場所	結果 (mg/kg)
1 池上流部底質 (仮設浄化プラントと法面間の池)	1.0
1 池部底質 (仮設浄化プラント道路直下の池)	2.4
1 池下流部底質 (直下池下流部の池)	1.6
8 池土壌 (ラグーン末端部の池；水無)	5~7
9 池土壌 (ラグーン末端部の池；水無)	4~6

### 2. 底質及び土壌の鉛溶出試験結果

採取場所	結果 (mg/L)
2 池 底質	<0.001
3 池 底質	<0.001
4 池 底質	<0.002
5 池 底質	<0.002
6 池 底質	<0.002
7 池 底質	<0.001
8 池 土壌	<0.001
9 池 土壌	<0.001
10 池 底質	<0.001

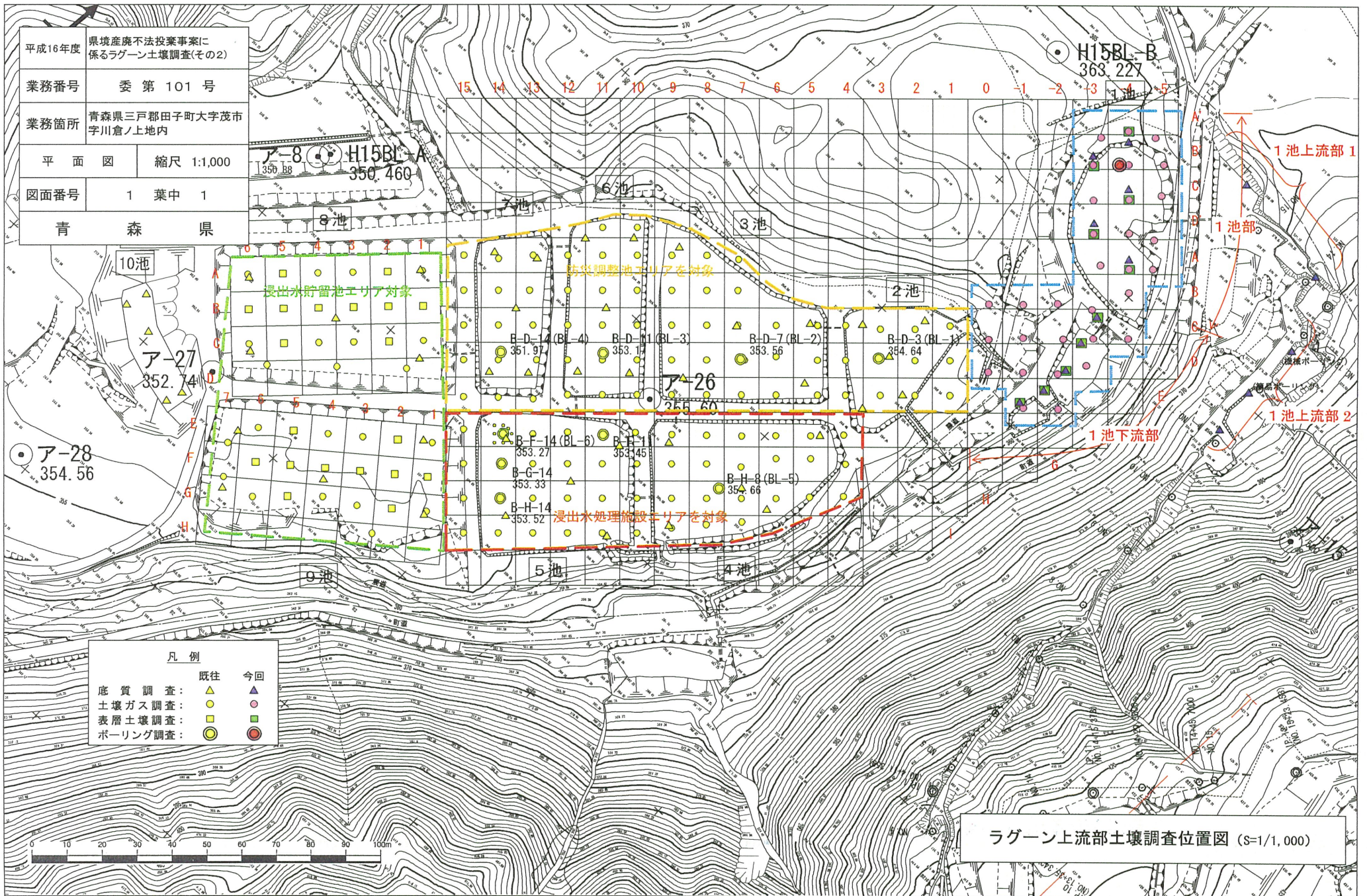
### 3. 水質試験結果

採取場所	結果 (mg/L)
水質E (堰堤ヒューム管)	0.002~0.02
水質B (事業場浸出水)	<0.001~0.028
水質F (ラグーン末端)	<0.001~0.008

#### 4. 考 察

- 1) ラグーンを構成する地盤や底質に含有される重金属類については、土壌含有量基準に適合している。
- 2) 最も浸出水の影響を受けた底質が堆積していると予想されるラグーン上流部エリアにおける鉛の含有量も土壌含有量基準を大きく下回る濃度となっている。
- 3) 底質の鉛の含有量は、
  - ① 地盤の含有量より2～5倍程度大きいこと
  - ② ラグーンに流入する水には $<0.001\sim0.028$  mg/L程度の濃度であること
  - ③ ラグーン末端では検出頻度が少ないこと等から、浸出水あるいは浮遊物に含まれる鉛は底質に蓄積したものと推測される。

平成16年度	県境産廃不法投棄事業に係るラグーン土壌調査(その2)
業務番号	委 第 101 号
業務箇所	青森県三戸郡田子町大字茂市字川倉ノ上地内
平面図	縮尺 1:1,000
図面番号	1 葉中 1
青 森 県	



凡 例		
底質調査:	既往	今回
土壌ガス調査:	● (yellow)	● (red)
表層土壌調査:	○ (yellow)	○ (red)
ボーリング調査:	○ (yellow)	○ (red)

ラグーン上流部土壌調査位置図 (S=1/1,000)